基地司令官　ダイエス基地の空兵とC-130Jを飛行

Yokota's commander flies with Dyess Airmen

July 28, 2016

Original text by Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

アメリカ・テキサス州ダイエス空軍基地第36空輸中隊の隊員が横田基地を訪れ、7月21日、C-130J導入のための訓練を行った。

1974年から横田基地に配備されているC-130Hに代わり、今年末から順次新たに14機のC-130Jが導入される予定だ。

（写真1）クルーメンバーと交信するテキサス州・ダイエス空軍基地第39空輸中隊C-130Jスーパーハーキュリーズ・ロードマスターのマーティン・ピナー等空兵。

1

（写真2）C-130Jの操縦席で離陸準備を行う第374空輸航空団司令官ケネス・モス大佐。

2

（写真3）訓練のあいだ、横田基地のフライトラインに駐機されたC-130Jスーパーハーキュリーズ。

導入訓練のため、テキサス州のダイエス空軍基地から3機のC-130Jが横田基地に飛来した。

3